

広島県 商工会地域

中小企業景況調査報告書

第183回

令和8年1～3月期 実績

令和8年4～6月期 見通し

令和8年3月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体内の約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 231社</p> <p>製造業55 建設業44 小売業67 サービス業65</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和8年1～3月期実績、及び令和8年4～6月期見通し
5. 調査時点	令和8年3月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html
 - 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)
<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

1. ポイント

※(独)中小企業基盤整備機構「第183回(2026年1～3月期)調査結果のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、3期連続して低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」(2026年3月1日時点)は、前期(2025年10-12月期)から0.1ポイント減(▲17.6)と3期連続して低下。産業別では、製造業で1.9ポイント増(▲15.9)、小売業で1.9ポイント増(▲26.5)、卸売業で0.5ポイント増(▲15.1)と上昇、一方、建設業で2.6ポイント減(▲11.3)、サービス業で2.2ポイント減(▲15.4)と低下している。来期見通しは、建設業を除くすべての産業で上昇している。

・製造業の引合いDIは、改善傾向

製造業の「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は非製造業と比べて高い水準で推移する中、製造業の「引合いDI(前年同期比)」は2期連続で上昇している。非製造業のサービス業における「利用客数DI(前年同期比)」は2023年4-6月期(9.5)から25ポイント低下している。

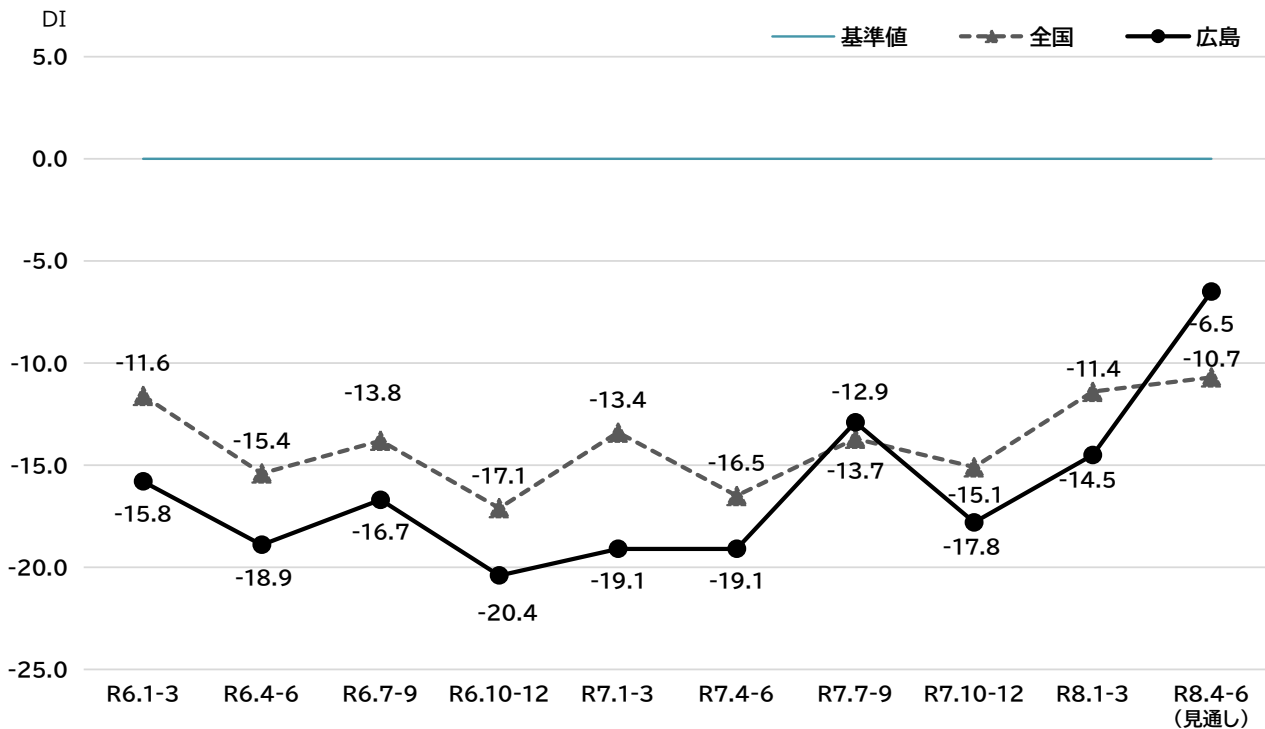
・宿泊業の利用客数DIが減少

宿泊業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2025年10-12月期)から19.1ポイント減(▲18.4)とプラスからマイナスに転じており、また、「利用客数DI(前年同期比)」も同様に前期から22.9ポイント減(▲21.6)となっている。今期の「利用客数DI(前年同期比)」を地域別に見ると、北海道以外のすべての地域で低下している。

産業全体の概況

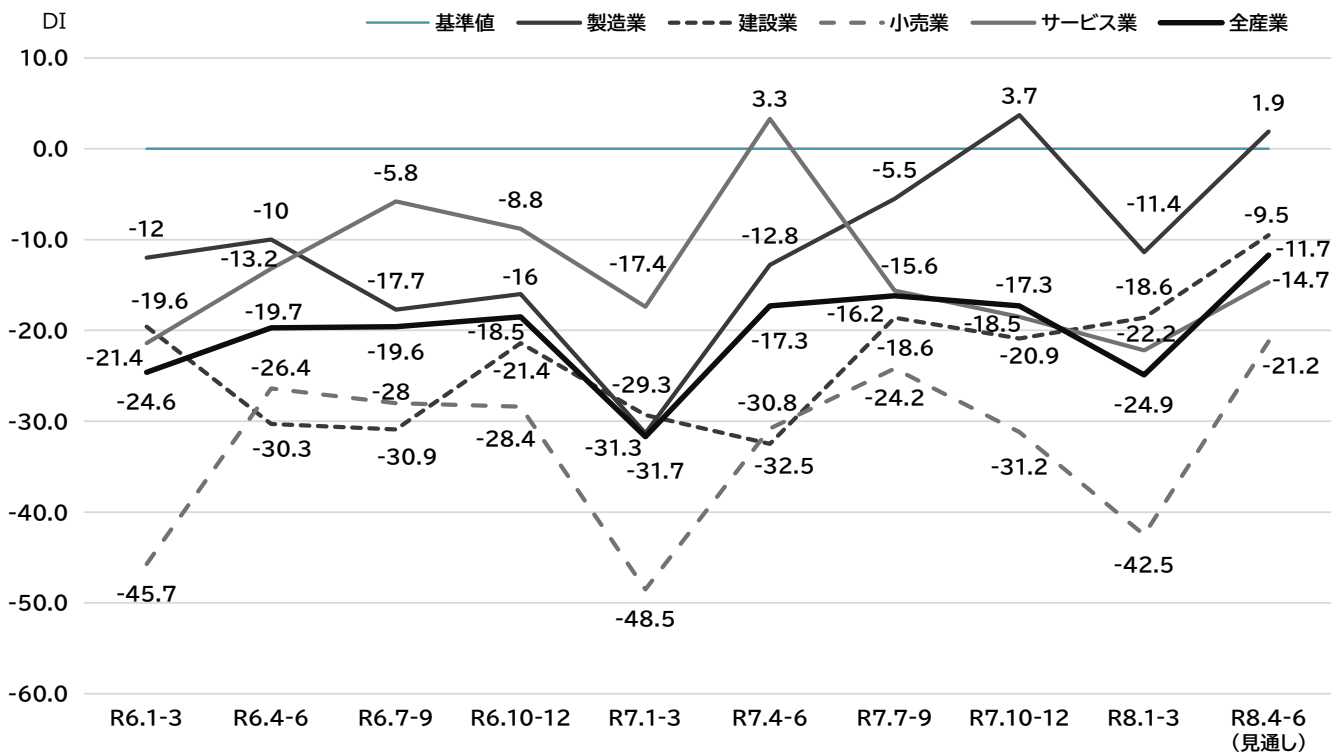
2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 - 前期比・季調済 -



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 - 前期比 -



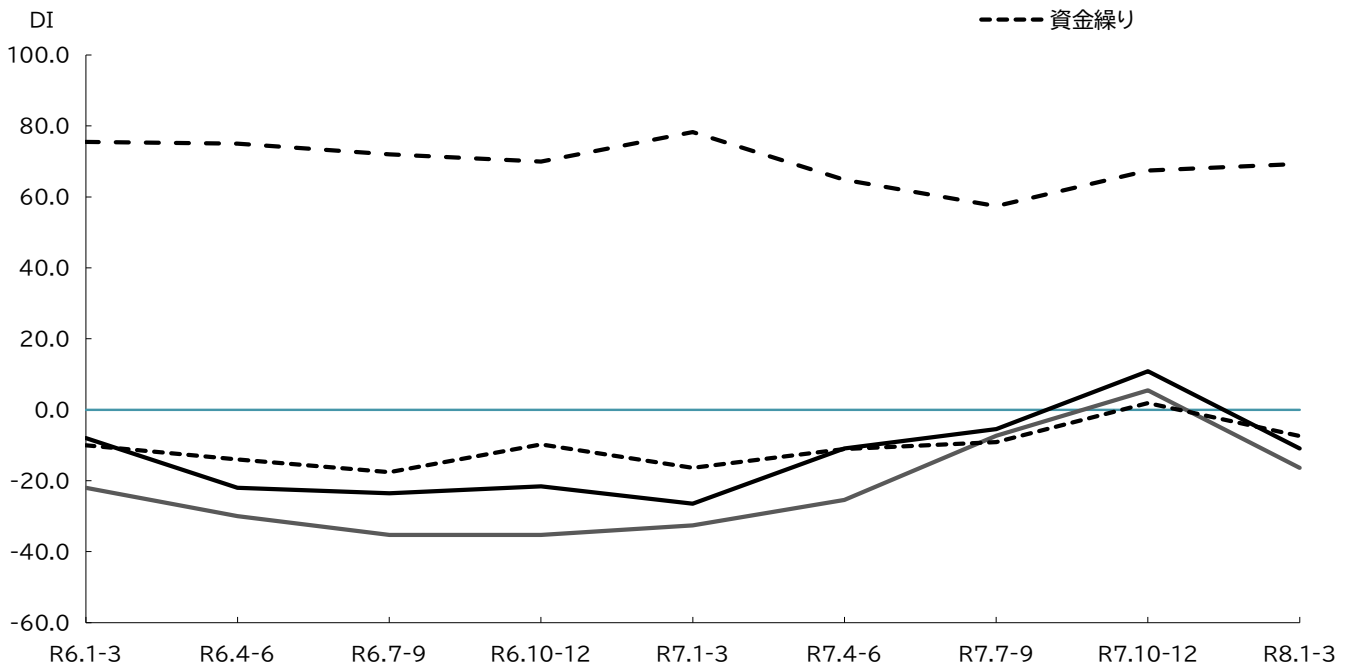
製造業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R7.10-12	(今期) R8.1-3	前期との比較	R8.4-6 今期との比較
売上額	10.9	-10.9	↓	1.9 ↑
原材料仕入単価	67.4	69.3	→	66.0 ↓
採算	5.5	-16.4	↓	-9.5 ↑
資金繰り	1.9	-7.4	↓	-3.9 ↑

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

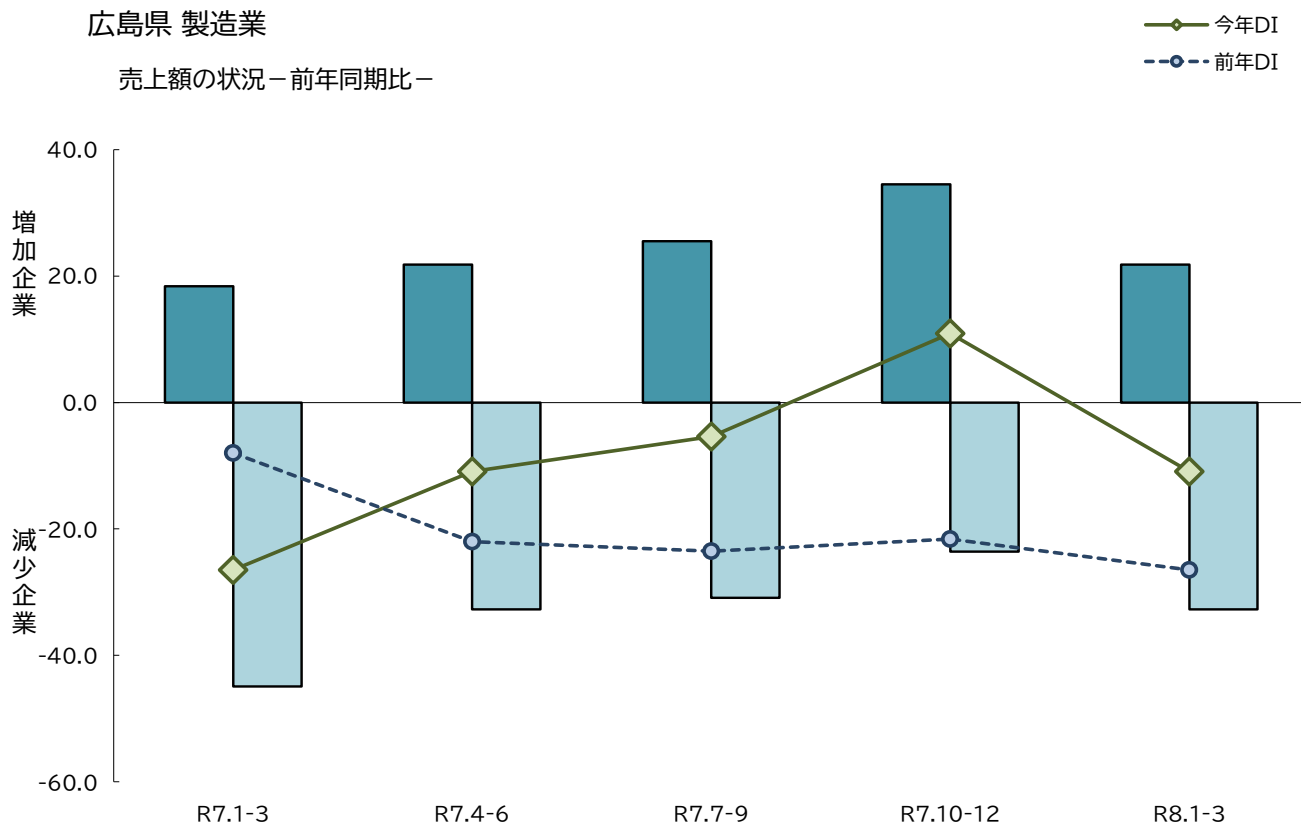
- ・ 今期は予定していた業務がずれ込んだ為売上が落ちてしまった。その影響で利益はあまり良くないと思われる。来期は序盤から発注があり穴埋めできることを期待している。最近情報は少なく不透明感が強い。
- ・ 今期は主要取引先の受注が少なかったですが、来期に向けて受注増加する見込みなので、そこに期待しています。
- ・ 年明け1月2月は毎年受注が減る時期ではあるが、今年がより落ち込んでいる。特定のお得意様の工場の休止やインフルエンザで担当者の休養により仕事の流れが変わった。
- ・ 長期物の受注はないが、安定して受注獲得できているおかげで業況は順調に推移。従業員増加に伴い、更なる受注増加が課題である。
- ・ 最低賃金が年々かなりの上げ幅上昇しており、パート従業員が労働時間を調整し就業日数を減らしている。派遣など外部人材を確保する必要がある。
- ・ 得意先の閉店が続くために、売り上げの減少が続く。今後もこの状況は続くと思われ、販売先の開拓が必要になってきた。原材料資材の高騰が続き、売価単価の値上げが必要だ。
- ・ 人件費(最低賃金)は上昇し続けているが、請負単価は上がらず、資金繰りの悪化から採算の悪化を招いている。業種柄、生産設備は非常に重要であるが、老朽化が進んでいるにも関わらず、更新する余裕が無い。

製造業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

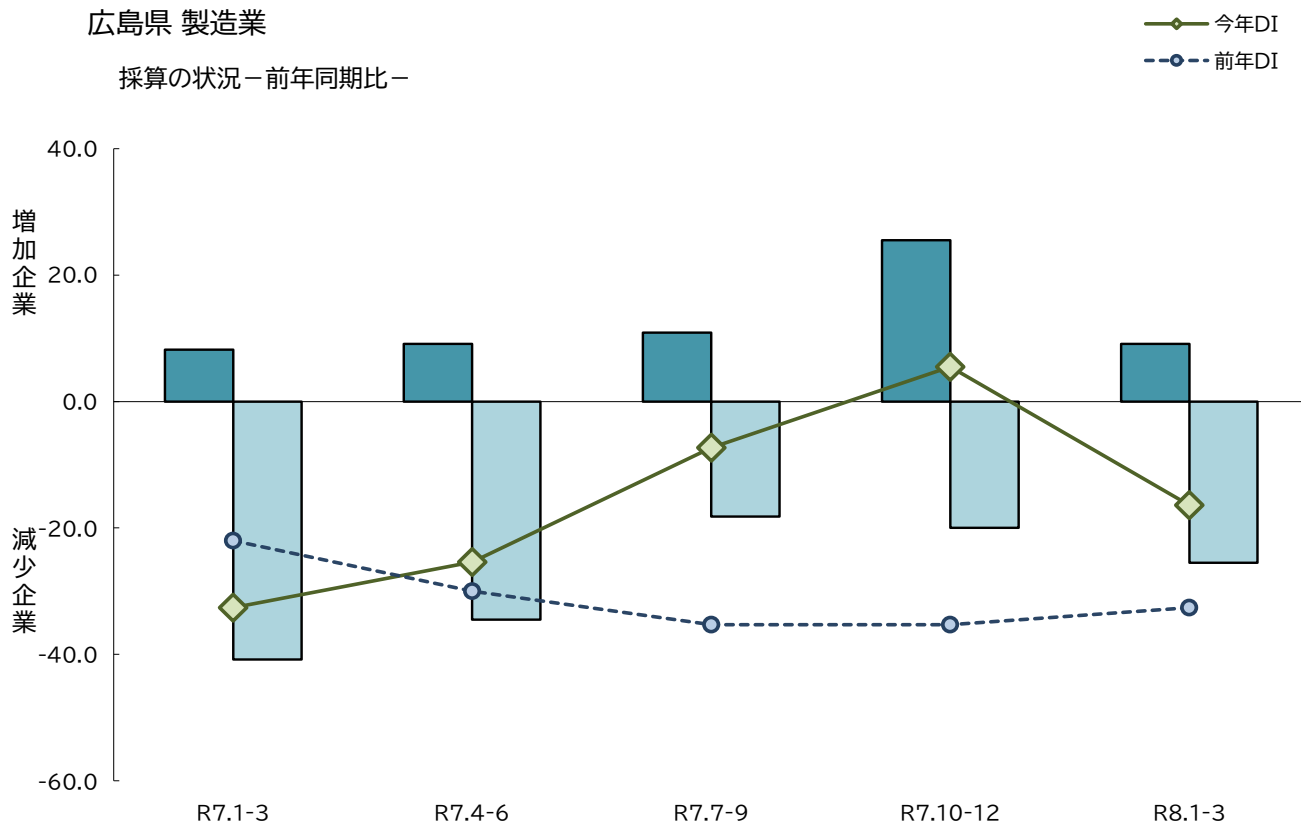
売上額の状況-前年同期比-



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

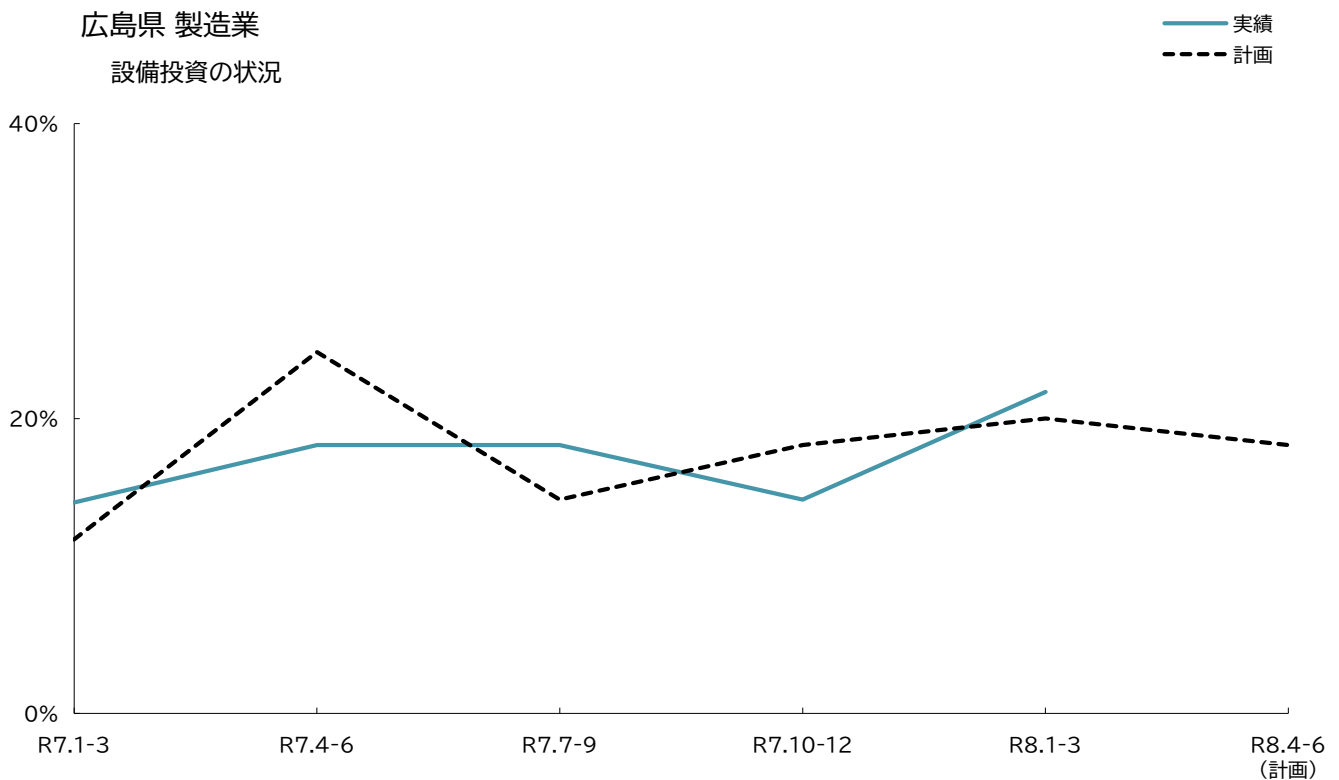
広島県 製造業

採算の状況-前年同期比-

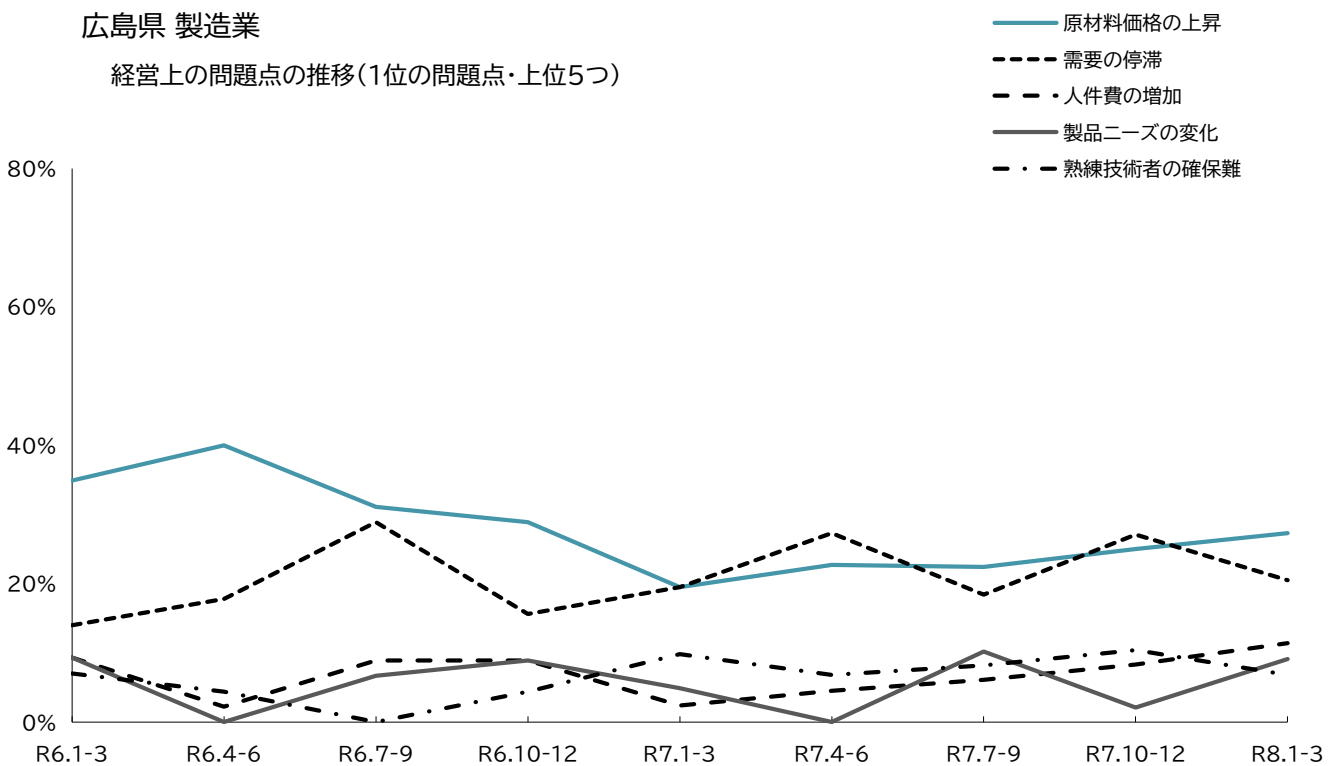


製造業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



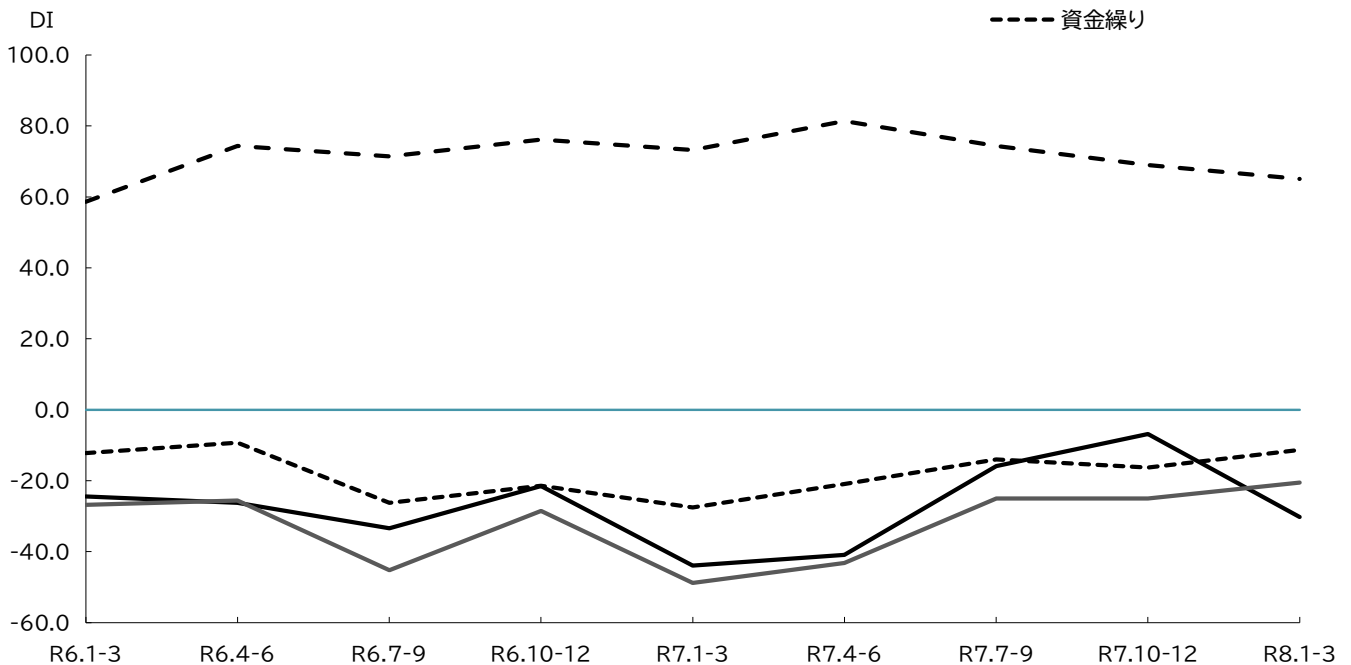
建設業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		
	R7.10-12	R8.1-3	前期との比較	(来期見通し) R8.4-6	今期との比較
売上額 (完成工事額)	-6.8	-30.2	↘	-23.3	↗
材料仕入単価	69.0	65.1	↘	55.8	↘
採算	-25.0	-20.5	↗	-9.5	↗
資金繰り	-16.3	-11.3	↗	-13.6	↘

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

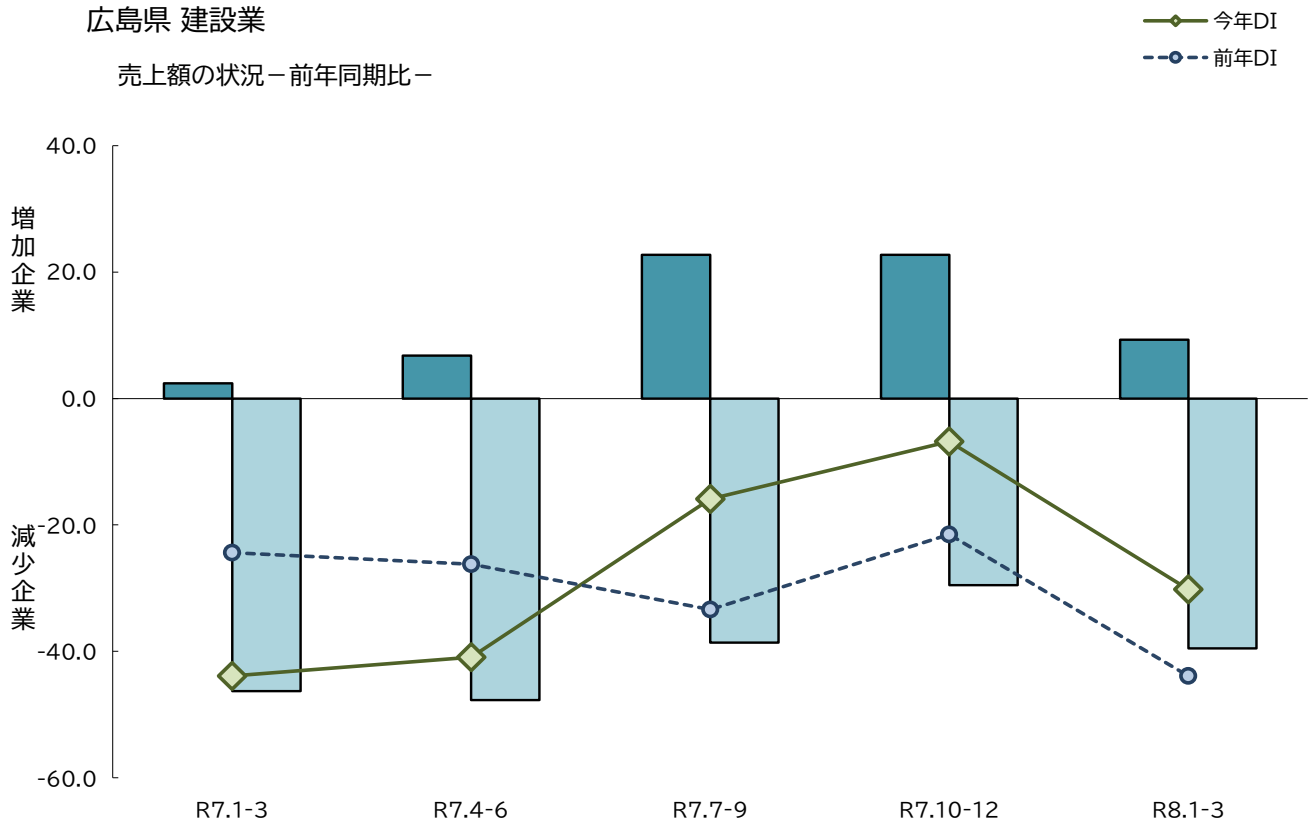
- ・ 業種柄1～3月期は主に天候上の理由から、民間需要が低速する時期と思っています。自社において今期は官公及び補助事業の受注が無く、また民間の新築(工期厳守)物件も無いため、前年周期より不況という状態です。
- ・ 材料の値上がり分は一定程度工事金額に転嫁出来ているが、肝心の工賃部分について単価が上がりきらないような状況。
- ・ 人件費・資材価格など工事に要する経費のほとんどが上昇しており、採算性の調整が非常に難航する。
- ・ 業種柄、材料価格の高騰は今後、非常に懸念している。
- ・ 受注工事は増加しているが材料、各種経費の値上がりが続く、利益幅が難しい状況です。
- ・ コロナ以降受注横ばい。商品価格、資材、下請けの賃金高騰。
- ・ 従業員の若返りを図ることを第一目標とする。

建設業（商工会地域）

2. 売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

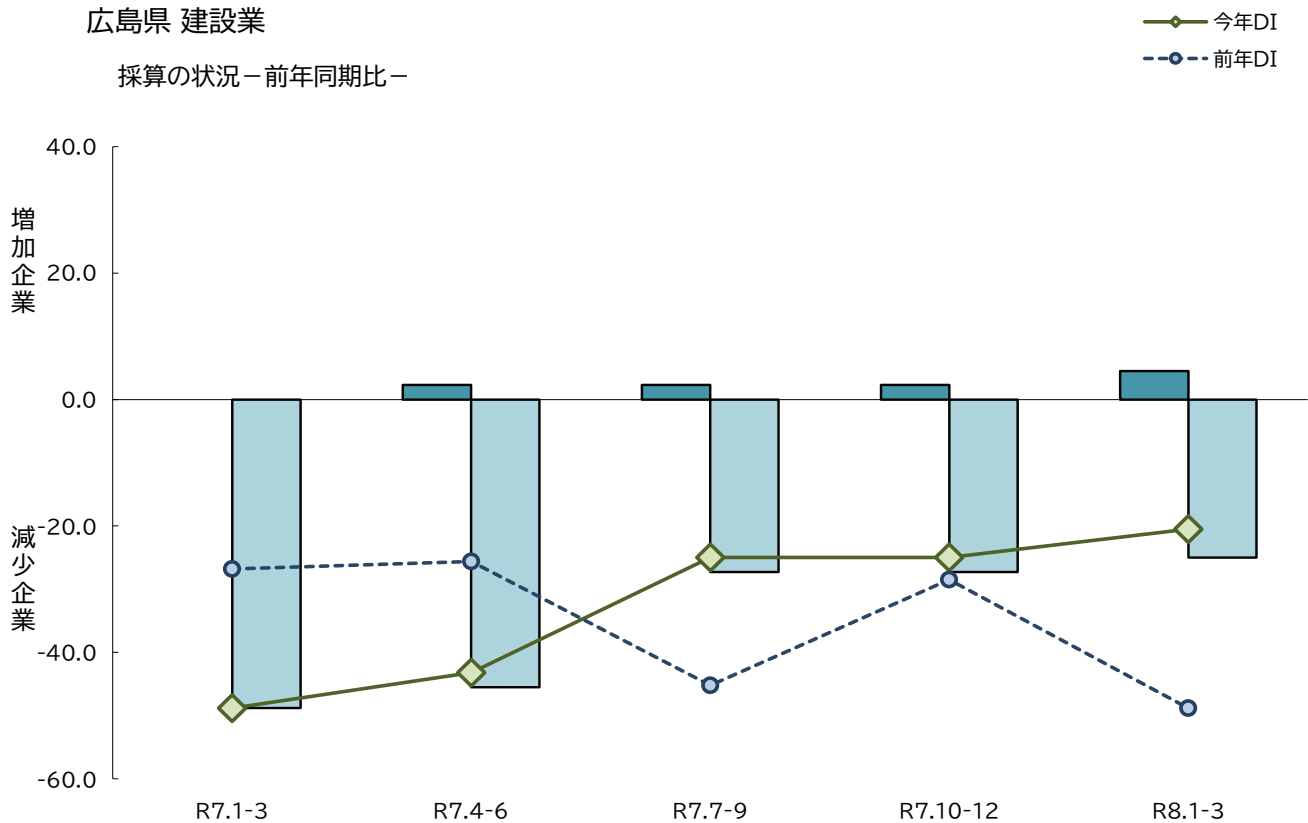
売上額の状況 -前年同期比-



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

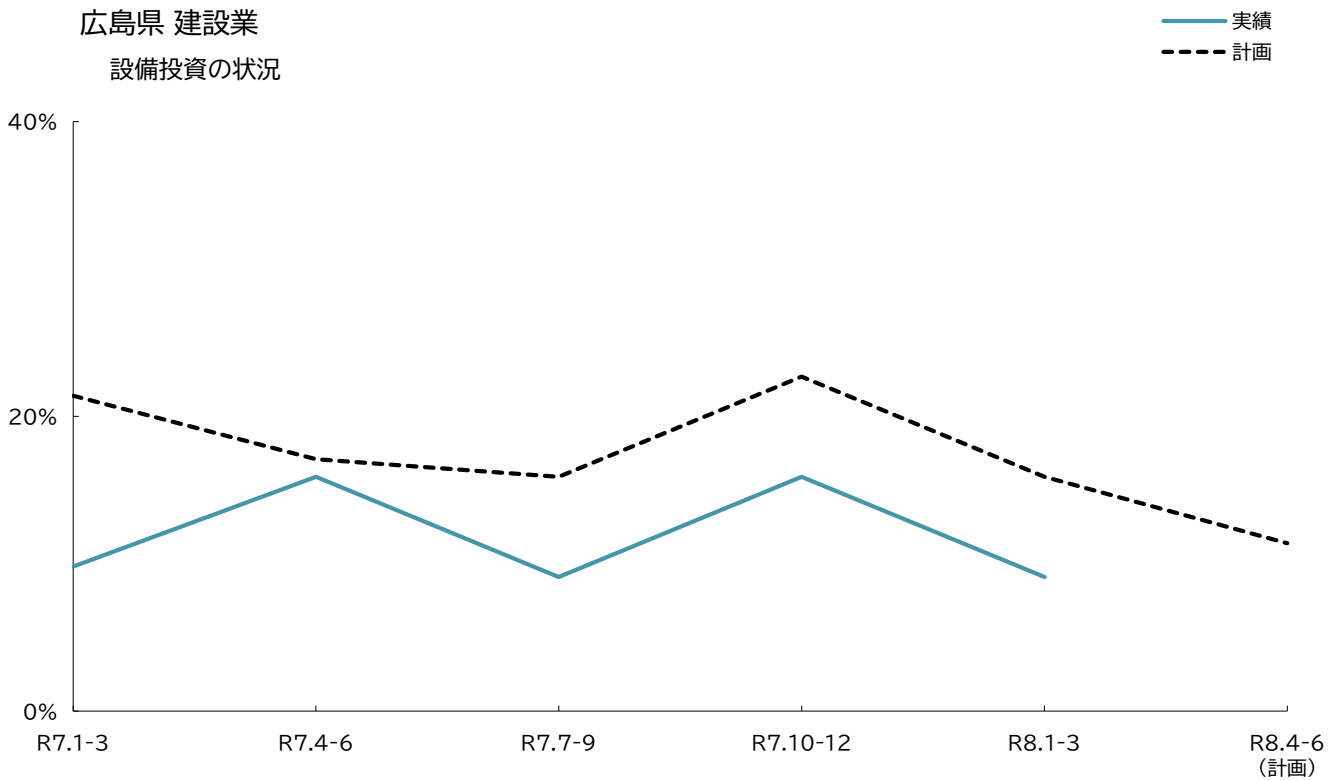
広島県 建設業

採算の状況 -前年同期比-

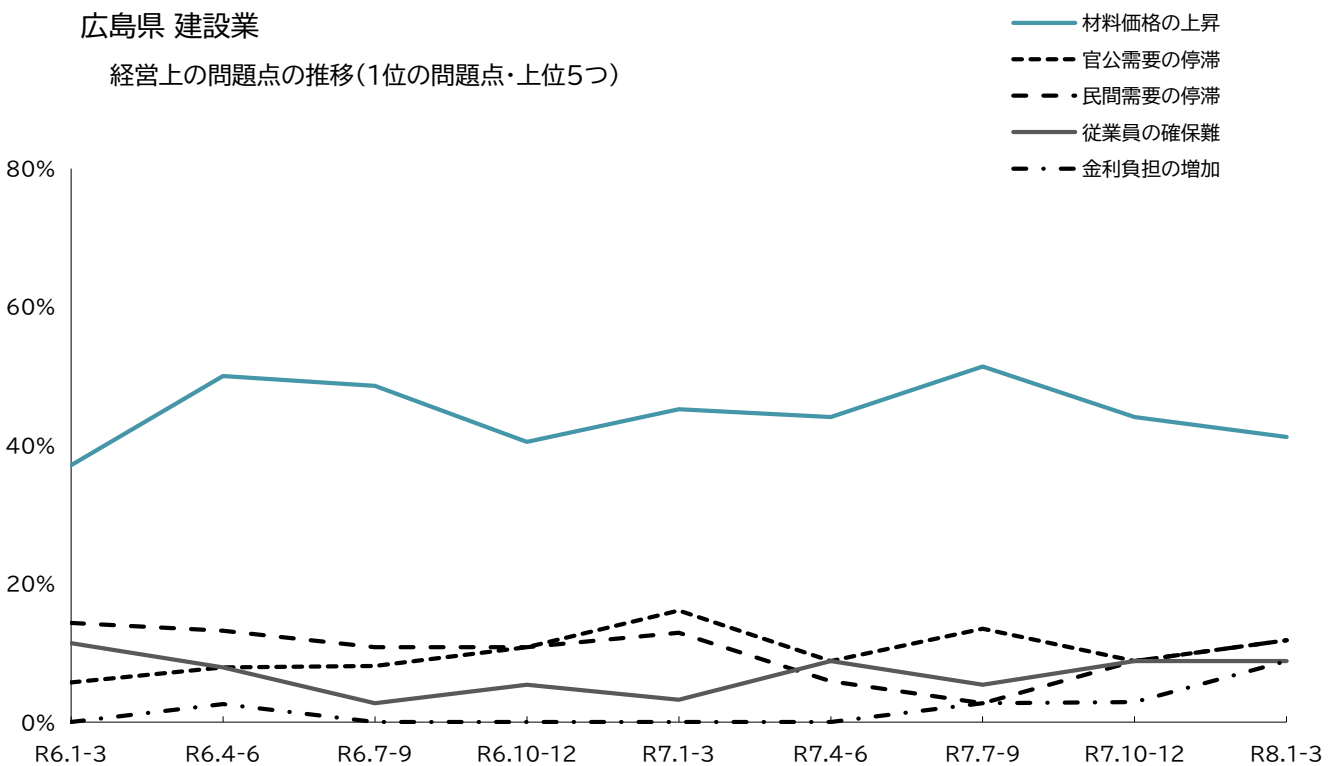


建設業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



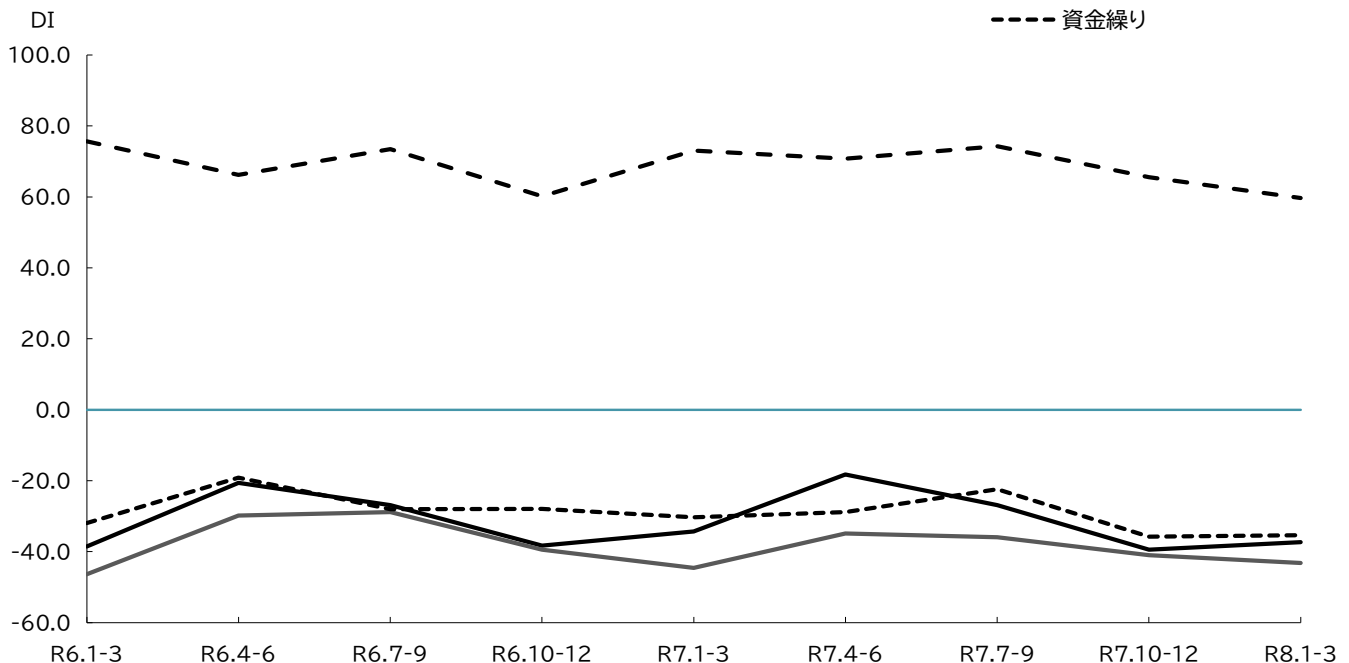
小売業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	小売業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R7.10-12	(今期) R8.1-3	前期との比較	R8.4-6 今期との比較
売上額	-39.4	-37.3	↗	-23.9 ↗
商品仕入単価	65.6	59.7	↘	53.7 ↘
採算	-41.0	-43.2	↘	-29.8 ↗
資金繰り	-35.8	-35.4	→	-19.7 ↗

広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

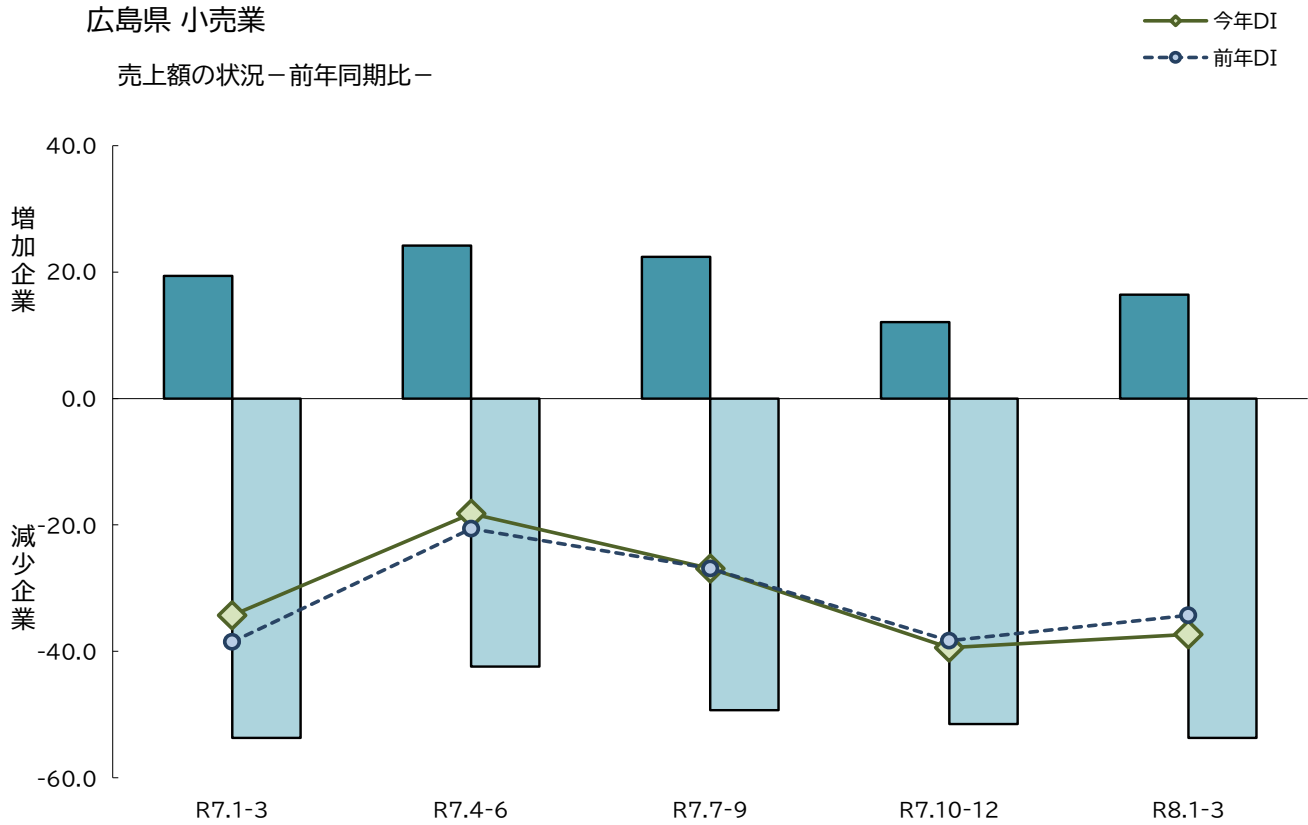
- ・ 商店街が盛り上がり、客層も変わり、冬期の来店客が増えた。懸念していた2月の売上が順調で通年を通して客数、単価が維持できれば安定した経営が見込める。
- ・ 売上が順調に上がってきているが、それにともない人材の確保が難しく感じる。
- ・ 人材高齢化により、若年層人材の確保のため一時的に人件費が増加傾向。増加した分の吸収が出来ていないのが現状。今後は準備を進めていた新規事業も立ち上がり、減少分を吸収出来ればと感じている。
- ・ 仕入単価の上昇分を商品にオンするスピードについていけない。経費の上昇分を価格にオンできていない。その結果、いつの間にかお金が足りなくなっている。
- ・ 相次ぐ物価の上昇で、買い控えと消費の減少が、続いている状況。この先も急な回復は、厳しい中、減税を含めた物価対策が、急がれる。
- ・ 食品の値上がりが激しく年金者などは衣料品にお金をかけなくなっている。そもそも在庫を置いて売る商売が成り立たなくなっている。
- ・ 近隣の同業者が著しく価格を下げるため客足が遠のく傾向にある。価格が安定すればまた回復するかもしれないので、来期に期待しよう。

小売業（商工会地域）

2. 売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

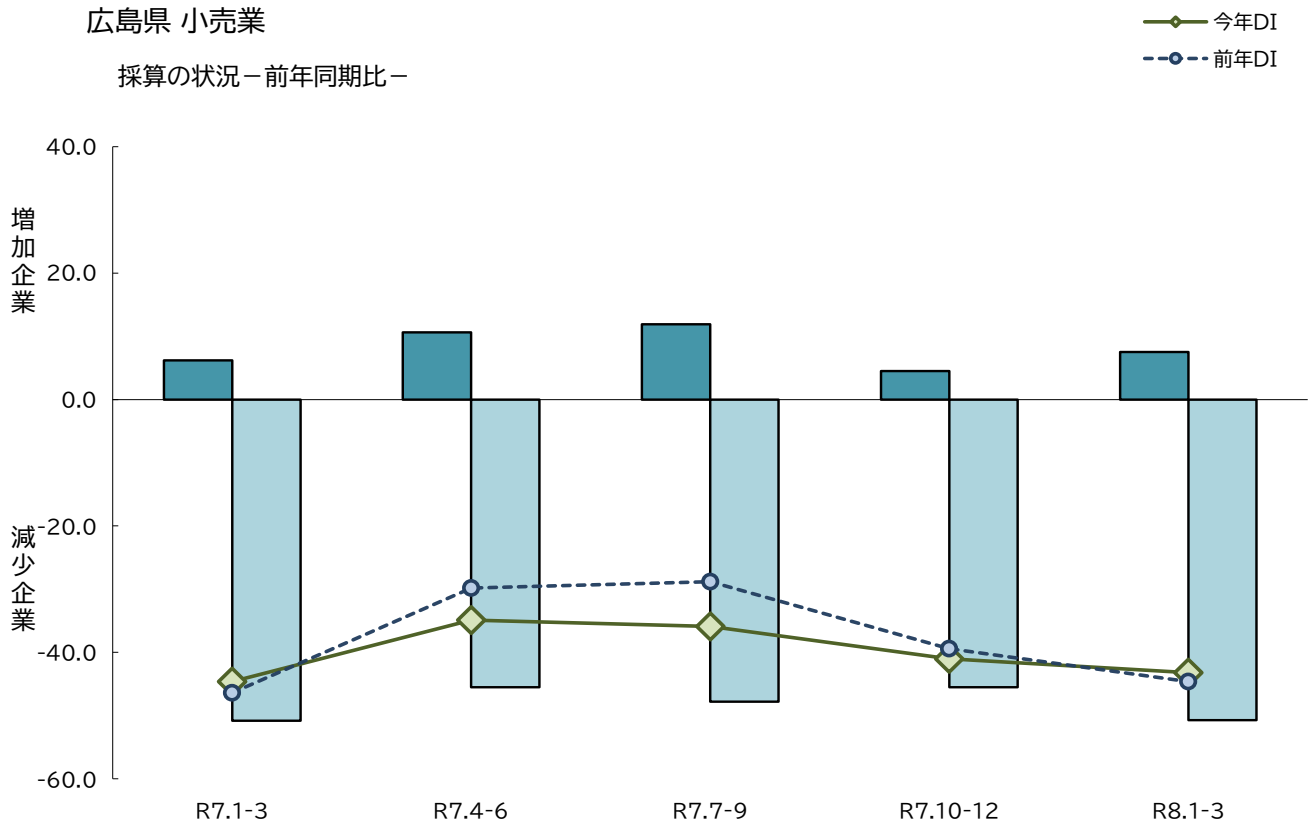
売上額の状況 -前年同期比-



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

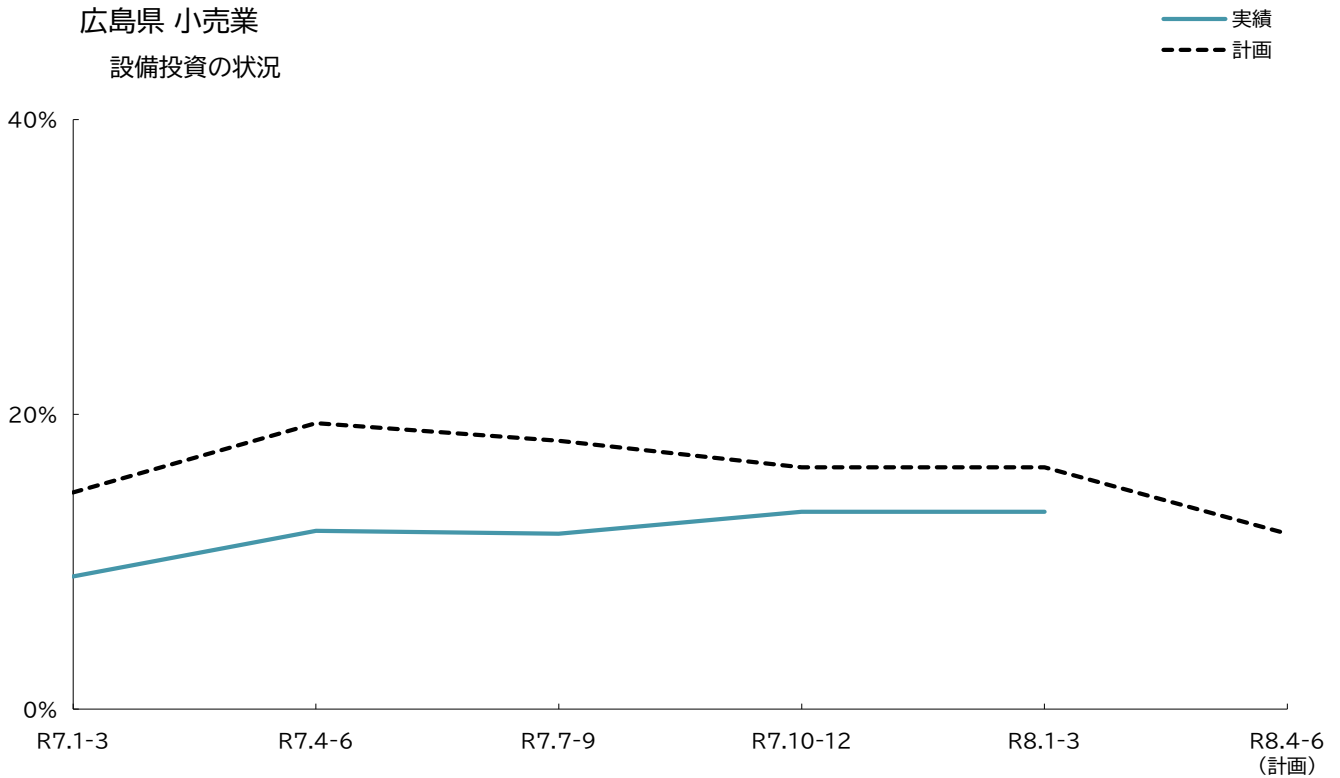
広島県 小売業

採算の状況 -前年同期比-

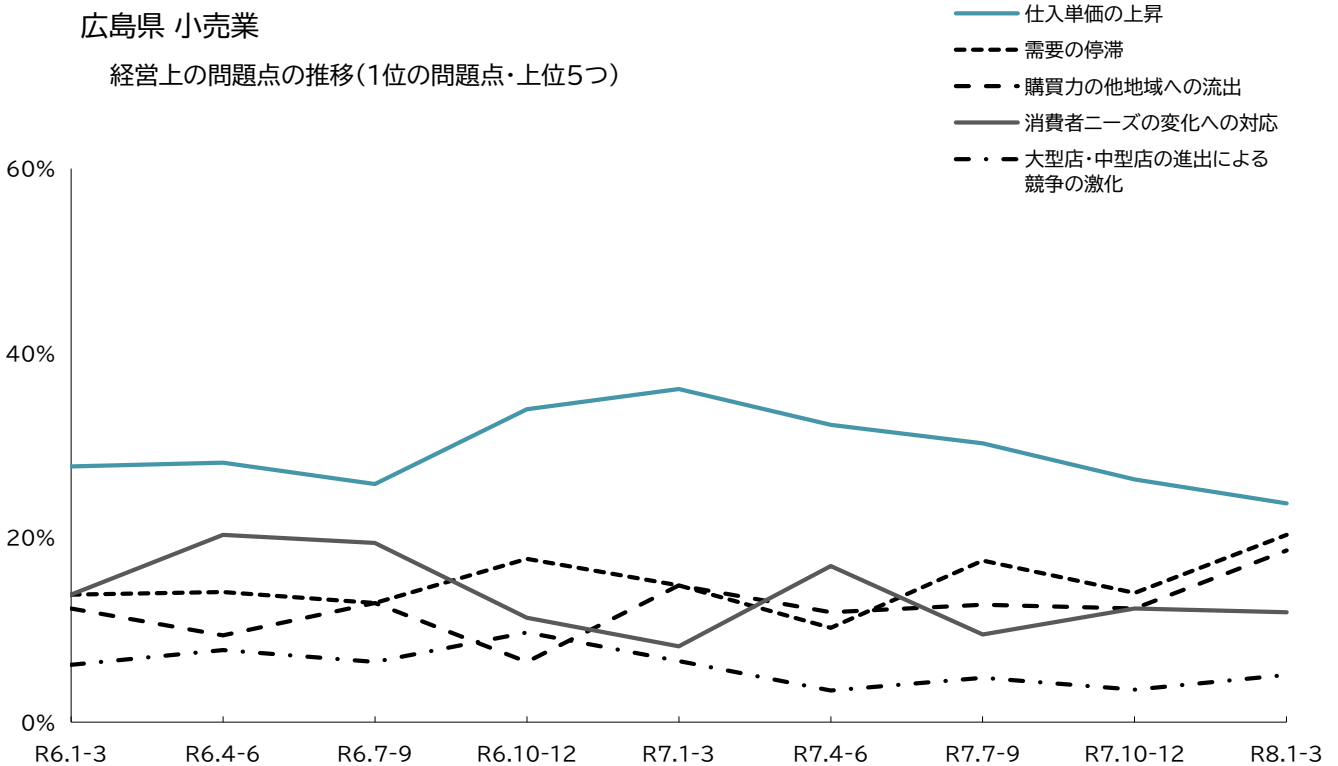


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



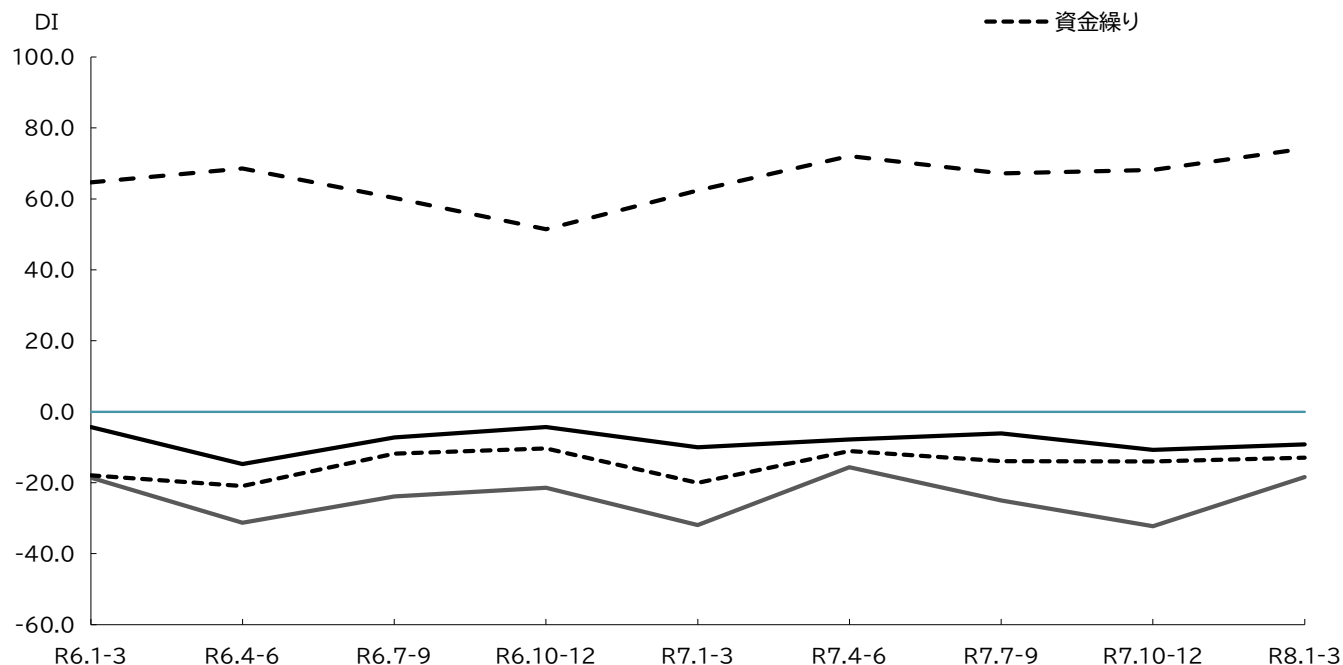
サービス業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R7.10-12	R8.1-3	前期との比較	R8.4-6	今期との比較	
売上額	-10.7	-9.2	→	-17.2	↘	
材料等仕入単価	68.2	74.2	↗	67.2	↘	
採算	-32.3	-18.4	↗	-15.6	↗	
資金繰り	-14.0	-12.9	→	-12.9	→	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

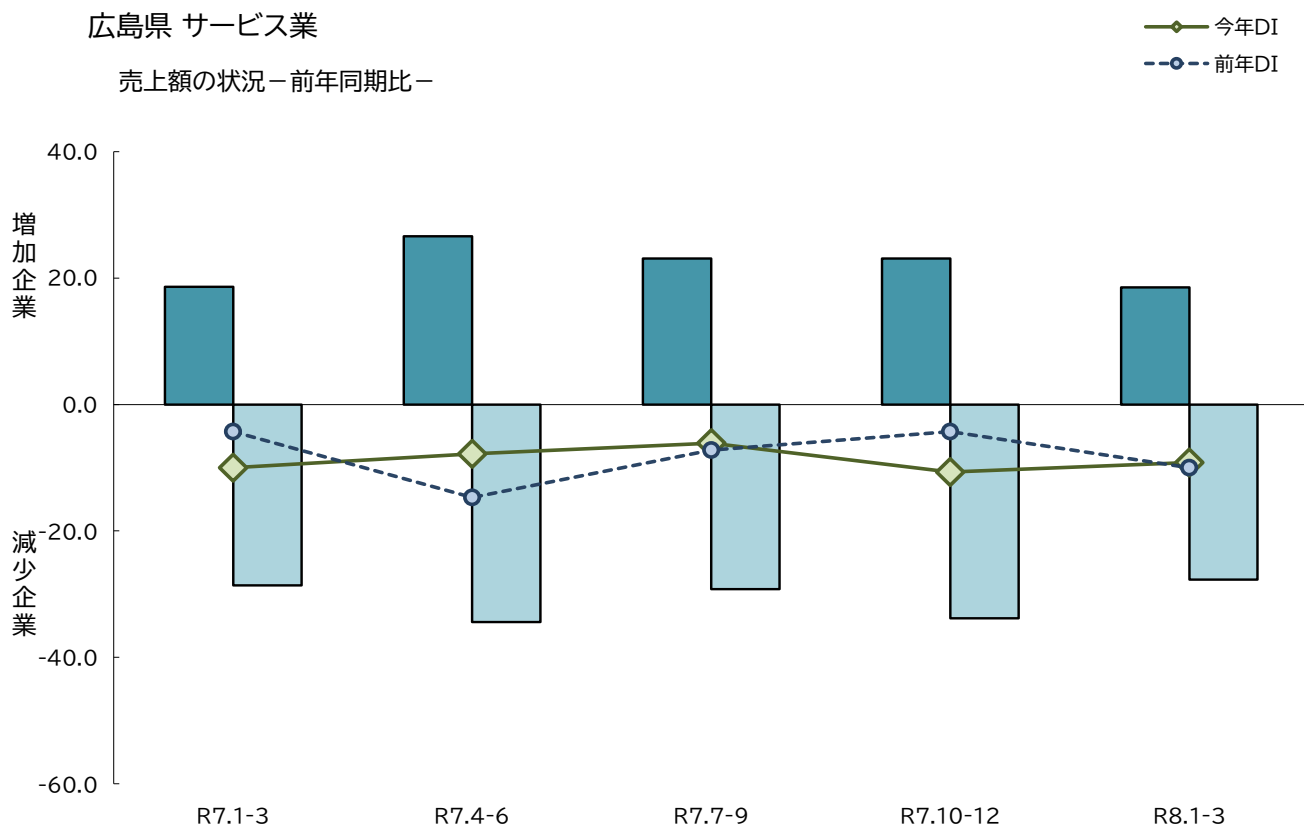
- ・パートさんが一人やめて人手不足になり、売上が低迷の恐れがあります。募集をかけてもなかなか応募がない状態です。
- ・前期値上げを実施しましたが、人件費や材料費の高騰で追いつきません。来期又、値上げを実施しようと思っています。
- ・1月後半から客数が増えた。天候の影響も有。長年ご来店の方も施設などに入れ足を運ばれる方が少なくなった。遠方のお客様も口コミでご来店いただいているが客足のある時に次のアプローチを考えサービス行う事が大切
- ・1～3月は冬期間となり積雪などの気象条件が来訪者数に影響し、前期と比べて業況が伸び悩む結果となった。
- ・直近で大手同業者が同地区内に新規参入。現状、学生を中心に利用客数は増加基調にあるが、ターゲットとしている40代以上の利用者は全くといってよいほど伸びていない。
- ・大規模施設etc総合力では劣るけれど、ニッチ規模においてトップになる事によってそれなりに認知度がUPして、お客様の集客が楽になった。
- ・近年、同業者の開業でお客様がそちらに流れています。利用客が減少しています。夏季もこのような状況だと赤字になります。物価上昇で、仕入れ単価が上昇。来年は宿泊料の値上げを検討しています。

サービス業(商工会地域)

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

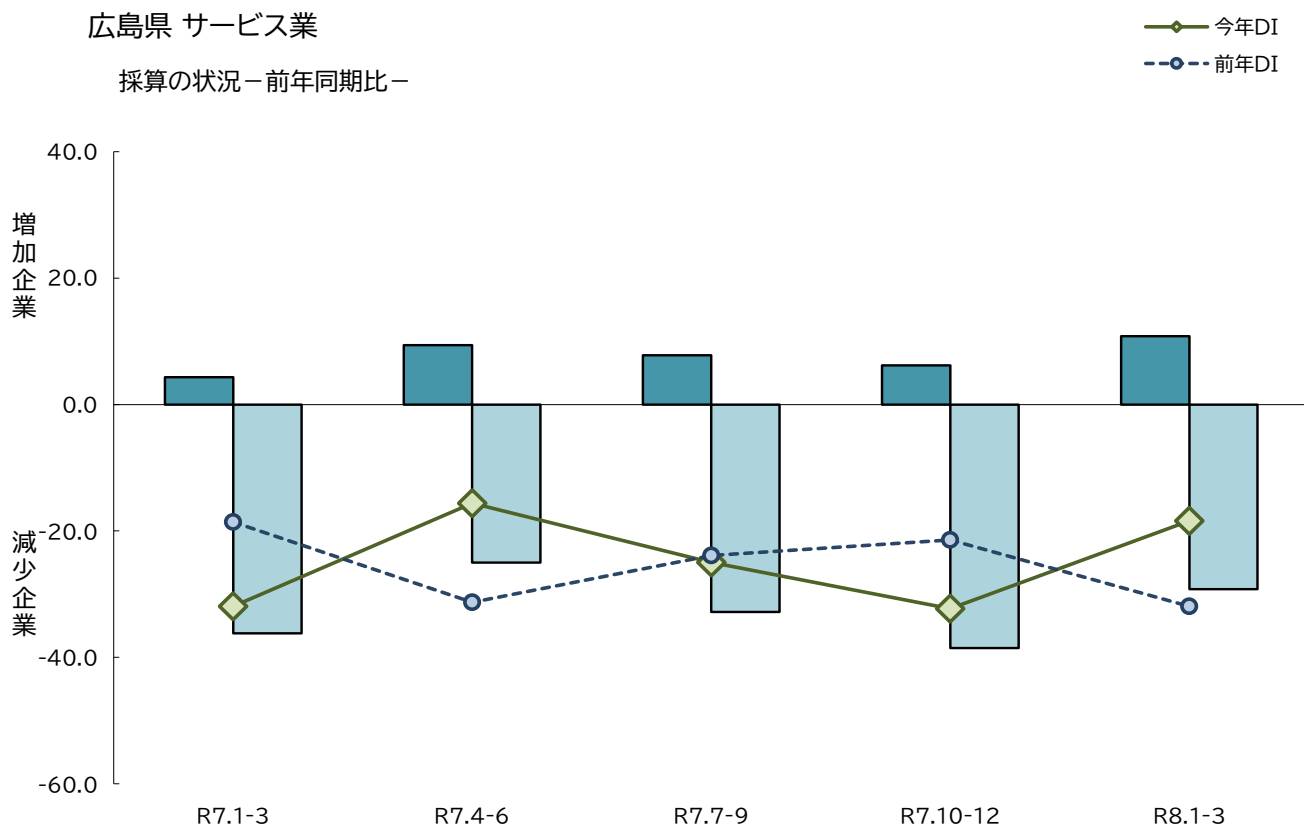
売上額の状況-前年同期比-



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

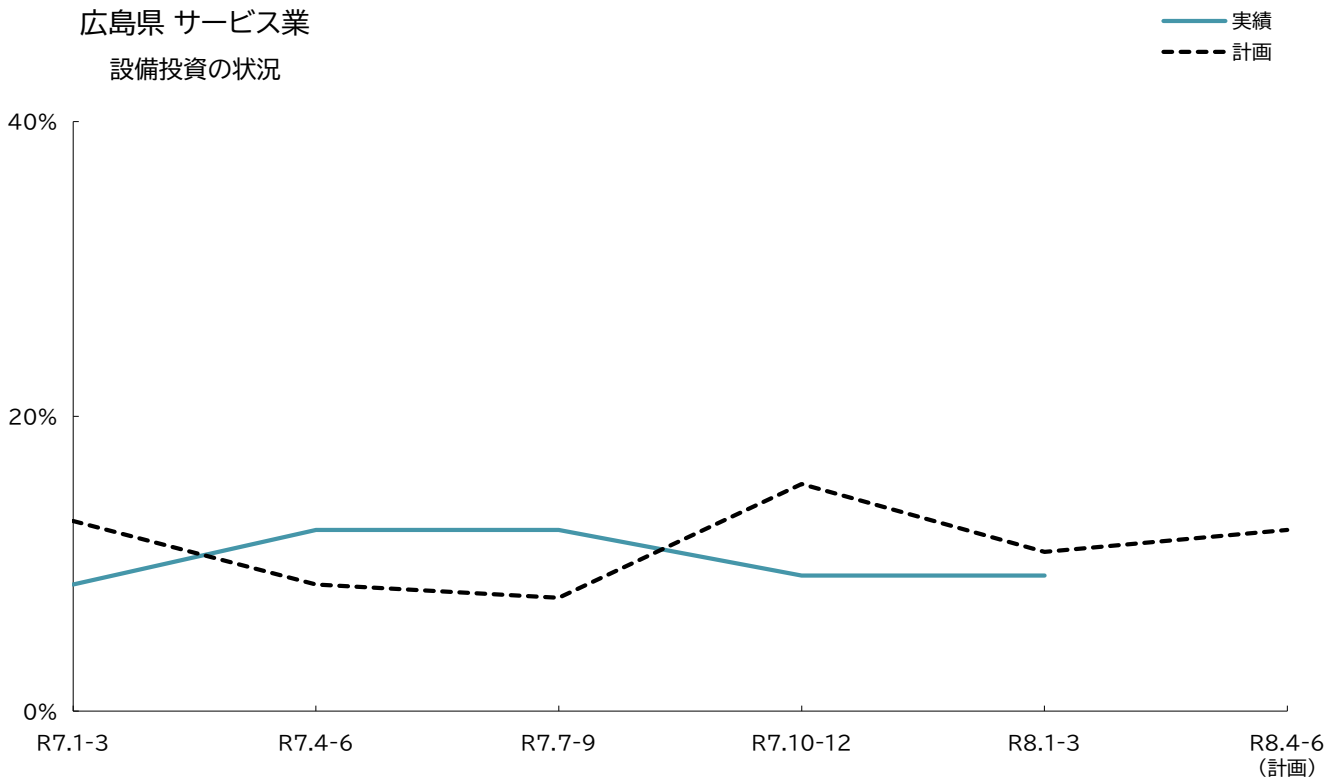
広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



サービス業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

